

E T C レーン速度抑制対策の実施状況

2008年11月25日より順次開始しましたE T C レーン速度抑制対策の状況をお知らせします。

本安全対策開始後約3ヶ月を経過致しました状況としましては、交通事故、速度状況とも良好な状況でございます。

ドライバーの皆様への周知が最も重要である本安全対策が順調な成果を図れているのは、マスコミ各社の皆様の積極的な取材報道の賜物と御礼申し上げます。

(1) 対策開始料金所

当社の全E T C レーンに昨年12月17日をもちまして速度抑制対策の導入が完了し、約3ヶ月を経過しました。

料金所数：227料金所、E T C レーン数：645レーン

(2) 交通事故発生状況

E T C レーンでの交通事故は、対策を開始しました昨年11月25日から本年2月28日までの96日間で62件《平均0.65(件/日)》であり、昨年度の523件《1.43(件/日)》から約55%減少しています。

(3) 速度変化状況

速度の変化状況は、本年2月と2007年12月と比較しますと、平均速度で約時速6km程度の低減効果が見られます。

また、著しい速度超過車両の割合が、平均で約71%削減されました。

(4) 渋滞発生状況

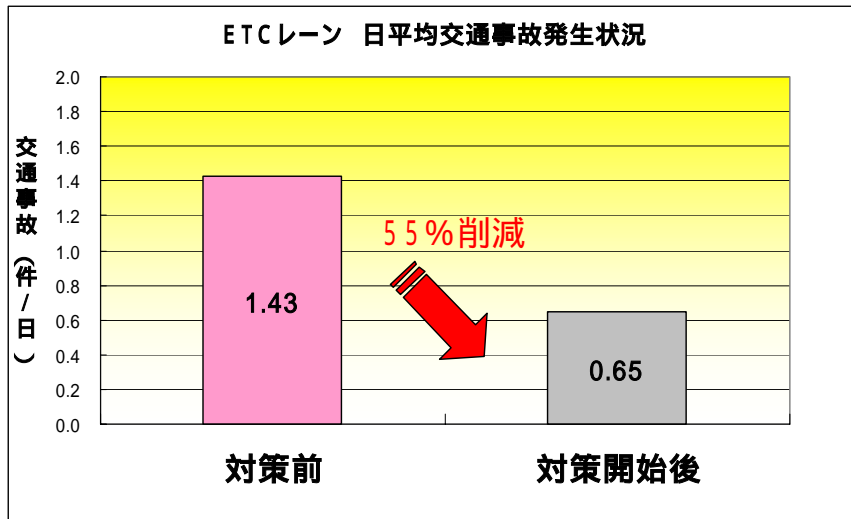
今回の対策に起因する渋滞は、3月17日現在発生していません。

(5) アンケート調査結果

本年2月上旬に弊社管内9箇所のサービスエリアで行いましたE T C レーン速度抑制対策に関するアンケート調査では、89%の方がE T C 開閉バーの開くタイミングが遅くなったことを認知され、60%の方が実際に通行速度が遅くなったと感じられております。また、96%の方がまだ速いと感じる料金所はないという調査結果が出ました。これらのことから、安心、安全につながるものと判断しています。

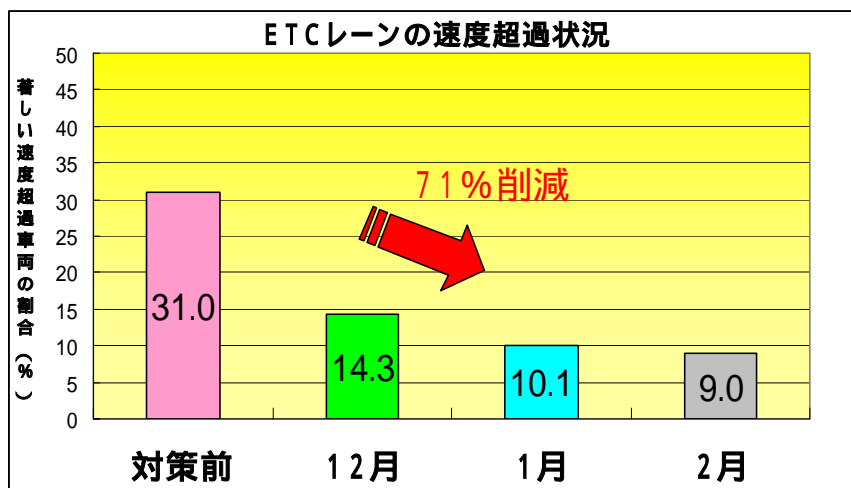
《資料》

(1) ETCレーンでの交通事故



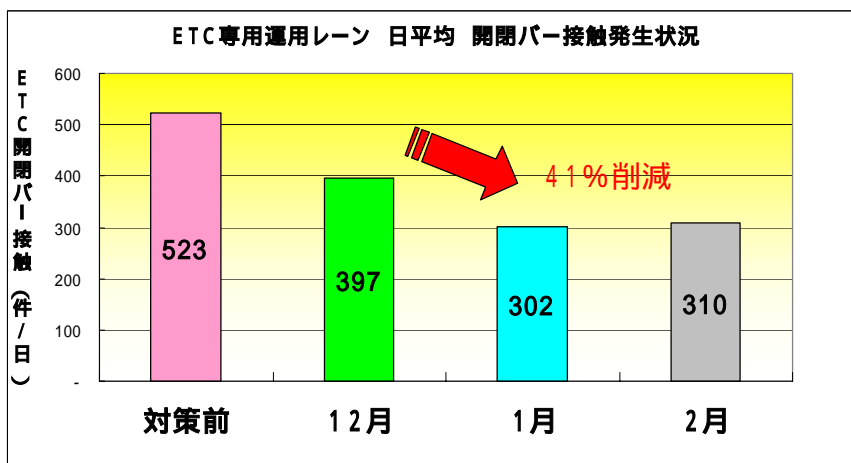
対策前：2007年4月1日～2008年3月31日(366日間)
対策開始後：2008年11月25日～2009年2月28日(96日間)
NEXCO中日本調べ

(2) 速度変化状況



対策前：2007年12月1日～31日(31日間)

(3) 開閉バー接触状況



対策前：2007年4月1日～2008年3月31日(366日間)

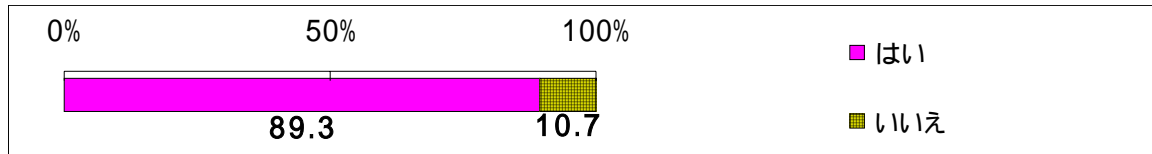
(4) アンケート調査結果

実施月日：2009年2月8日(日)、9日(月)

調査数：1,444名

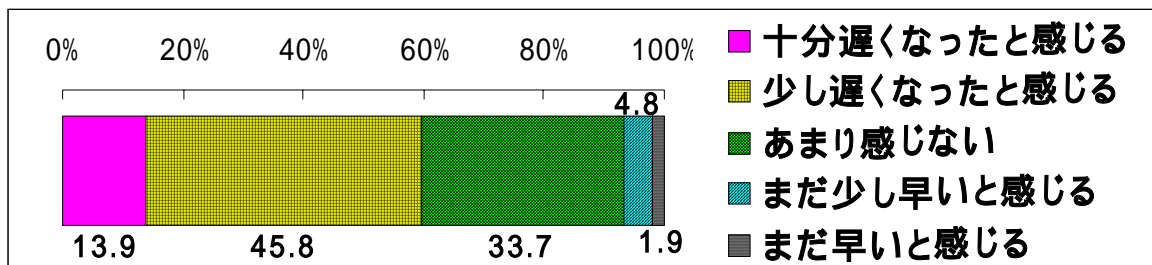
実施場所：東名 海老名SA、浜名湖SA、上郷SA、中央道 談合坂SA、恵那峡SA、
長野道 梓川SA、名神 養老SA、新名神 土山SA、北陸道 南条SA

質問：NEXCO 中日本エリアでETC開閉バーの開くタイミングが遅くなったことをご存知ですか



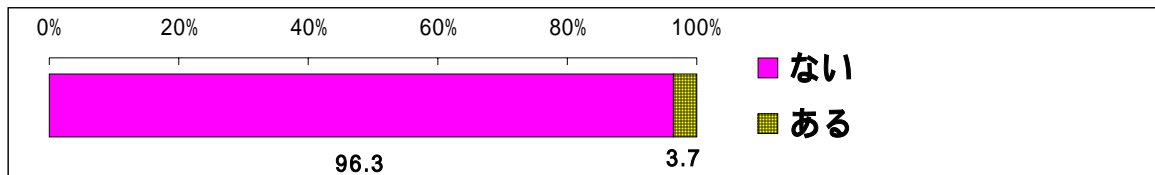
『89%』が開閉バーの開くタイミングが遅くなったことを知っています。

質問：事故防止対策後の周りの通行速度をどのように感じますか



『60%』が「十分」または「少し」遅くなったと感じています。

質問：NEXCO中日本エリアで通行速度がまだ速いと感じる料金所はありますか。



『96%』がまだ速いと感じる料金所はないと感じています。